

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区 名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※ 1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※ 2	備 考 ※ 3	※ 4
北海道	はまどんべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	コハクチョウ、 マガモ、オカガモ	コハクチョウ 1400 羽、 マガモ・オカガモ 400 羽	※主に渡去の中継地 先週より 600 羽程コハクチョウ が増加。湖面は未だ 90 %以上凍結。(3/9 現在)	北海道
	みやじまめま 宮島沼 (美唄市)	マガン 約 5 ～ 6 万羽 〈秋期 9 月下旬 ～ 10 月 下旬、春期 4 月〉 他にオカガモ等雁類、 コハクチョウ等ハクチョウ類	オハクチョウ 14、コハクチョウ 2 オワシ 1、オジロシ 2 カワアイ 3	※主に渡去の中継地 一部解氷部あり。 (3/5 ～ 9 現在)	
	ウトナイ湖 (苫小牧市)	ハクチョウ類 〈11 月上 ～ 1 月上旬〉、雁類 〈10 月 上 ～ 1 月上旬〉 など	ハクチョウ類 300 羽、 オカガモ 3000 羽	※主に渡去の中継地 ハクチョウ、雁類の飛来が多 く、越冬鳥類が終結の傾 向にある。湖面は 8 割解 氷した。(3/8 現在)	
青森県	こみなと 小湊 (平内町)	オハクチョウ、オカガモ、 キンクロハシロ、ユリカモ	オハクチョウ 170 羽 オカガモ 1800 羽 ユリカモ 80 羽	越冬中であり、渡去はみ られない。先週位からオ カガモが増加。(3/8 現在)	東北
秋田県	大潟草原 (大潟村)	コガモ、マガモ等雁類 〈10 月上 ～ 3 月下旬〉 コハクチョウ等ハクチョウ類 ヒシキ、マガン 〈10 月下 ～ 3 月下旬〉	コガモ 100 羽、マガモ 30 羽	ハクチョウ類は 3/5、ヒシキ・マ ガンは 3/3 に渡去終了(例 年より早め)。雁類は 3/5 から渡去開始。 (3/8 現在)	
宮城県	伊豆沼 (栗原市、登米市)	マガン 3 万羽 〈10 月下旬 ～ 3 月〉	ガン、雁類 3,500 羽	越冬中。 (3/7 現在)	
山形県	最上川河口 (酒田市)	オカガモ、オシロ、キン クロハシロ等雁類 オハクチョウ、コハクチョウ 〈10 月中 ～ 4 月中旬〉	オカガモ 11,500 羽、オシロ 600 羽、キンクロハシロ 100 羽、オハクチョウ 1,500 羽、コ ハクチョウ 1,000 羽	現在越冬中で、2/13 か ら渡去開始。 (3/8 現在)	
新潟県	さかた 佐潟 (新潟市)	コハクチョウ、オハクチョウ マガモ、コガモ等雁類	マガモ 500 羽 コガモ 300 羽	ハクチョウ類の渡去終了。 (3/8 現在)	関東
千葉県	やつひがた 谷津干潟 (習志野市)	ハマシギ、ダシギ等のシギ・ フドリ類 〈11 ～ 5 月〉、 オカガモ、ヒドリガモ等の 雁類 〈10 ～ 4 月〉	シギ、フドリ類 400 羽 雁類 1700 羽	大きな渡去の動きは見ら れない。(3/4 現在)	

石川 県	かたの かもいけ 片野鴨池 (加賀市)	鶺鴒類 <9 月上～4 月中 旬>、マガン <9 月上～3 月上旬>、コハクチョウ <10 月中～3 月下旬>	鶺鴒類 300 羽 マガン 800 羽	越冬中。2 月に入って渡 去が始まっている。 (3/9 現在)	中 部
愛知 県	ふじまえひがた 藤前干潟 (名古屋市、飛島村)	スズガモ、オナガガモ等鶺 鴒類 <10 月中～3 月上 旬> ハマシギ 3000 羽 <10 月 初旬～5 月初旬>	スズガモ 3,000 羽 ハマシギ 600 羽	全体として例年より早め の渡去がみられる。 (3/9 現在)	
兵庫 県	はまこうしえん 浜甲子園 (西宮市)	鶺鴒類 <9 月中～4 月下旬> シギ・チドリ類 <4 月中～5 月下旬>	鶺鴒類 500 羽	越冬中。一部移動があり、 鶺鴒類が減少。 (3/9 現在)	近 畿
鳥取県 ・ 島根県	なかうみ 中海 (米子市、境港 市、安来市、松 江市、東出雲町)	鶺鴒類 約5万羽 <10 月中～4 月末>	鶺鴒類及びコハクチョウ 5900 羽	コハクチョウ、鶺鴒類に渡去がみ られる。 (3/3 ～6 確認)	中 国 ・ 四 国
島根 県	しんじこ 宍道湖 (松江市、出雲市、 斐川町)	マガン、コハクチョウ、鶺鴒類 約4万羽 <10 月中～4 月末>	マガン、コハクチョウ、鶺鴒類、 1900 羽	コハクチョウは渡去中であり、 一部の鶺鴒類にも渡去がみ られる。 (3/2 ～7 現在)	
福岡 県	わじろひがた 和白干潟 (福岡市)	ヒドリガモ、マガモ等鶺鴒類 <10 月～3 月> ハマシギなどシギ類 <9 月～4 月>	ヒドリガモ 50 羽 マガモ 200 羽 オナガガモ 50 羽	(3/9 現在)	九 州
宮崎 県	きりしま 霧島 (都城市、高原 町)	マガモ等鶺鴒類 <10 月～4 月>	ヒドリガモ 100 羽、 マガモ 500 羽、オナガガモ 50 羽 オナガガモ 100 羽、 キンクロハシロ 30 羽	越冬中であり、渡去は見 られない。(3/9 現在)	
鹿児 島 県	いずみ たかおの 出水・高尾野 (出水市)	ナベヅル、マナヅル等ツル類 <10 月～3 月> ヒドリガモ、マガモ等鶺鴒類 <10 月～3 月>	ナベヅル 9000 羽 マナヅル 4 羽 ヒドリガモ等鶺鴒類 2000 羽	ツル類、鶺鴒類の渡去が本 格化している。 (3/9 現在)	

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況を取りまとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。